

12月27日

主をほめたたえよ。

ルカ福音書1章67～80節

1:67 さて父ザカリヤは、聖霊に満たされて、預言
して言った。

1:68 「ほめたたえよ。イスラエルの神である主を。
主はその民を顧みて、贖いをなし、

1:69 救いの角を、われらのために、しもベダビデの
家に立てられた。

1:70 古くから、その聖なる預言者たちの口を通して、
主が話してくださったとおりに。

1:71 この救いはわれらの敵からの、すべてわれらを
憎む者の手からの救いである。

1:72 主はわれらの父祖たちにあわれみを施し、その聖なる契約を、

1:73 われらの父アブラハムに誓われた誓いを覚えて、

1:74 75 われらを敵の手から救い出し、われらの生涯のすべての日に、きよく、正しく、恐れなく、主の御前に仕えることを許される。

1:76 幼子よ。あなたもまた、いと高き方の預言者と呼ばれよう。主の御前に先立って行き、その道を備え、

1:77 神の民に、罪の赦しによる救いの知識を与える
ためである。

1:78 これはわれらの神の深いあわれみによる。そ
のあわれみにより、日の出がいと高き所からわれら
を訪れ、

1:79 暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、われ
らの足を平和の道に導く。」

1:80 さて、幼子は成長し、その霊は強くなり、イス
ラエルの民の前に公に出現する日まで荒野にいた。

クリスマスが終わり、
今日は2020年最後の礼拝です。
この一年ここまで導かれたことを
感謝します。
ルカ1章からザカリヤの信仰を
学んでいきましょう。

ザカリヤさんは神殿で奉仕をしている時、天使のお告げ、赤ちゃんが生まれるというお告げを受けましたが、信じられなくて、不信仰の罪を犯しました。「そんなことがあるはずないでしょう」と言って大見得を切っています。その結果、赤ちゃんが生まれる日まで、10か月、口がきけなくなりました。

ザカリヤはこの間、どんな気持ちで、
無言で過ごしたでしょうか。口がきけないので
すから、愚痴やつぶやきは言えませんでした。が、
心の中はどうだったでしょうか。しゃべれない、
自己表現ができない、つらいことです。この期
間、神様はどんな計画をもっておられたので
しょうか。

ザカリヤはどんなことを
学んだのでしょうか。

天使のお告げの通り
赤ちゃんは生まれました。

1:57 さて月が満ちて、
エリサベツは男の子を産んだ。

1:58 近所の人々や親族は、
主がエリサベツに大きなあわれみをおかけになったと聞いて、
彼女とともに喜んだ。

10か月しゃべれないザカリヤ。

10か月の間に周りで何が起こったのか。
これらを通してザカリヤはどんなことを学んだの
でしょうか。

妻、主婦のエリザベツは疑わずに信じた。

そして妊娠が明確になった。沈黙のザカリヤを前に
エリサベツは賛美をした。

親戚の少女マリヤも聖霊による処女の妊娠を疑わ
ずに素直に信じた。

そしてマリヤも賛美をしました。

マリヤの婚約者、大工のヨセフも聖霊による妊娠と
いう出来事を天使から聞いて信じた。

ザカリヤは口がきけない10か月。

妻エリサベツも信じた。

若いマリヤは素直に信じた。

大工ヨセフも信じた。

みんな、祭司ではない、特別の教育のない
人々が信じてハレルヤ、ハレルヤと
主を賛美しています。

ザカリヤは赤ちゃんが生まれるわけではない
と不信仰の返答をしました。

その理由は。

ザカリヤは老練で敬虔な信仰深い歩みをしていた。
経験プラス敬虔、ここからくる常識、理性が全能の
神様のみわざを信じ期待する信仰の邪魔をしてし
まいました。律法を落ち度なく行っていた。まじめで
信仰深い歩みが、理性、判断を支配して、神様
の新しい、大きな働きの期待感をなくしてしまいま
した。

神様は自由、不思議をなす神様です。

コリント第一2章9節

「まさしく、聖書に書いてあるとおりです。目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの。神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」

現代に生きるクリスチャン、周りの方に信頼され、証ししていくためには
忠実、経験深いことは大切です。
しかし常識、理性を超えたことを
される主に期待することも大切。
この両者を大切に。
主には不可能なことは一つもない。

この間ザカリヤは主に訓練された。

自分の不信仰な行為に

向き合い続ける訓練。

自分の欠点、失敗は見たくない、
忘れたい。

しかしこれらを見つめ向き合うことは、
つらいことですが大切。

ザカリヤは10か月の長い間、
自分の失敗、不信仰、弱さと向き
合っていました。
悔い改め、悔い改めの実を結んで
いきました。これが神様の訓練。

ルカ1章では、
まずエリサベツが賛美しています。
次いでマリヤが賛美しています。
67節から遅まきながらザカリヤも
賛美に加わっています。

訓練を受けていた間、
ザカリヤは賛美ができなかった。
でもやっとザカリヤの口にも賛美があふれてき
ました。

1:68 「ほめたたえよ。
イスラエルの神である主を。
主はその民を顧みて、贖いをなし、
1:69 救いの角を、われらのために、
しもベダビデの家に立てられた。

ザカリヤの賛美に「あわれみ」ということばがあ
ふれています。

72節、主はわれらの父祖たちに
あわれみを施し

78節、これはわれらの神の深いあわれみによ
る。そのあわれみにより、日の出が
いと高き所からわれらを訪れ、
暗黒と死の陰にすわる者たちを照らし、
われらの足を平和の道に導く

ザカリヤは赦してくださる神様を
賛美しています。

赦された喜びを賛美しています。

赦されたところに賛美があふれてきます。

アブラハムもサラも約束の子供を
与える神様の約束を疑いました。
モーセも自分はできない出来ないと
不信仰のしりごみりをした。

そんな不信仰のイスラエルを主は憐れんで
赦してくださいました。

73節「アブラハムに誓われた誓いを覚えて」
とザカリヤは歌っています。

イスラエルが反逆をしても不信仰になっても罪を犯
しても尚愛し続けてくださる神様の憐れみをザカリ
ヤは賛美しています。

失敗したペテロを赦してくださるイエス様。
過去に大きな罪のあるパウロを使徒として
用いたイエス様。

この神の憐れみの前に素直になることも大切。

不信仰はよくない、罪は悪いこと。
しかし神の赦し、憐れみに心を閉ざして
かたくなになることはもっと悪い不信仰。

ダビデもザカリヤも不信仰に
いざなわれましたが、悔い改めました。
赦されて、いつまでもすねていないで
落ち込んでいないで立ち返りました。
自己嫌悪に陥り続けていたらサタンの
喜ぶところです。

ザカリヤは賛美をしています。

ここにザカリヤの本当の悔い改めがあります。アブラハム、ダビデ。罪を犯したペテロも赦されて立ち直り主に従って行きました。

ザカリヤも、わたしたちも赦されています。
恐れなく、主の御前で仕えていきましょう。

信じるところに賛美があります。
新しい年、主に向かって新しい歌を歌いま
しょう。
年の終わりの日、感謝の歌を主にささげま
しょう。

コロナの時代、マスクをして賛美をしなければなりません。

自由にイベントや食事会、コンサート、伝道集会もむづかしいです。

ザカリヤが神様の声を聞いて変えられたように、この季節も神様と交わり、み言葉から神様の励まみやみことばをしっかりと受け止めていきましょう。

テモテ第二の手紙2:9

私は、福音のために、苦しみを受け、犯罪者のようにつながれています。しかし、神のことばは、つながれてはいません。

様々な制約のある日々ではありませんが
新しい年もみ言葉に励まされ導かれて行き
ましょう。

祈り

天の父なる神様、この困難な一年を無事に
守ってくださったことを心から感謝します。
神様は不思議な力あるあわれみのみわざをされる
ことを覚えて御名を賛美します。
神様がみわざをされ、御声をおかけくださる時、
しもべはここにいます、主よお遣わし下さいと
いつも信仰の応答のできるしもべと導いてください。
新しい年も主のなしてくださるみわざ、導きに従って
歩ませてください。イエス様の御名によって。アーメ
ン。